

タイルカーペットのメンテナンス

主にリビングや子供部屋などのホームユース向けのタイルカーペットです。
歩行頻度が高い場所や土足使用はお避けいただきますようお願い致します。

●日よけのおすすめ

直接日光のあたる場所でのご使用の場合は、パイルが変褪色する場合があります。
カーテン、ブラインドなどで日よけて下さい。

●薬剤は直接ふりかけないで

防虫剤、殺虫剤、消毒剤などを直接カーペットに散布すると、人体に影響はありませんが、
パイルが変褪色することがありますので、直接散布はお控え下さい。

●カーペットをいつまでも美しく

カーペットは他の床材と違い、細かなホコリやゴミを一時的に包み込む性質があります。
毎日のわずかな手入れがカーペットの寿命を大きく変えますので、正しい手入れを心がけて下さい。
買った当初、遊び毛という余分なパイルが出ますが、これは抜けたり切れたりしたものでありません。
しばらく敷いておきますと、この遊び毛が少なくなり、カーペットの表面に美しいツヤが出てまいります。

●お手入れのスケジュール

毎日のお手入れは、軽く毛並みにそって掃除機（吸込仕事率 150W/時以上）をかけて下さい。
一週間に一度は、念入りに掃除機をかけ、パイル間のホコリ、ゴミを取り出してください。
月に一度は、中性洗剤を溶かしたぬるま湯で雑巾を絞って軽く拭いて下さい。
年に一度、置き敷きの場合は戸外で裏返して、裏から軽く棒でたたき、ゴミを落として下さい。

●汚れたらすぐお手入れを

汚れはカーペットの生命をちぢめる大敵です。汚れたらすぐに落とすことが長持ちさせるコツです。
汚れの原因がわかったら、最適の方法と順序にしたがって手入れをおすすめします。
この時、周囲から中心に向かって汚れを取ってください。
汚れを取ったあとは必ず毛並みにそってブラッシングし、乾かしてください。

●ひどい汚れは専門業者に

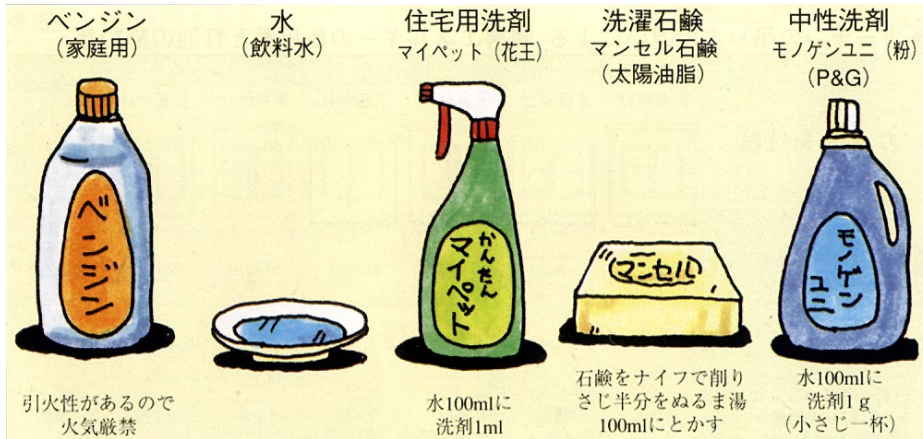
長くお使いになり汚れが目立ってきたら、クリーニング専門業者に頼みましょう。
敷き詰めカーペットは出張クリーニングを依頼すると手間が掛からず経済的です。
部分敷きの場合は工場クリーニングへ依頼しましょう。

◇スポットクリーニング

カーペットのシミは、大きく分けると油性シミと水性シミに分けられます。使い易いシミとり剤で、なるべくやさしく、失敗が少なくて応用範囲の広いシミとり方法をご紹介します。

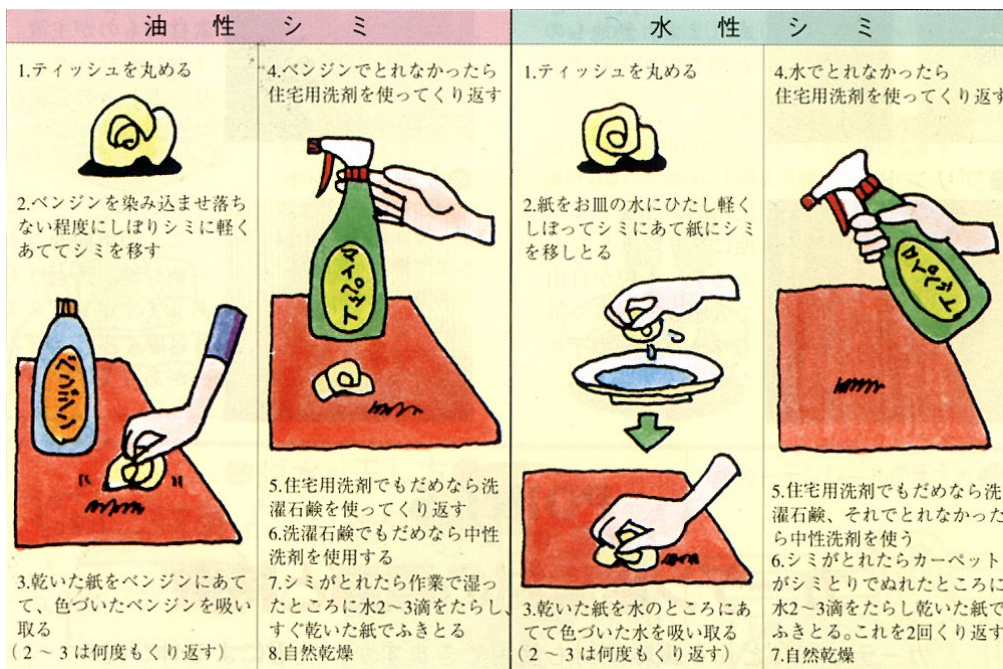
しみ抜き用具

ティッシュペーパー・脱脂綿・綿棒・皿や鉢のような容器・シミとり剤（下表の通り調製します）



シミの判定法

まず、簡単に取れる汚れはヘラなどで取っておきます。丸めたティッシュペーパーに水を少量にじませたものでシミを軽く押えてみて、紙に汚れがついてきたら水性シミ。また同じくティッシュペーパーにベンジンを少量にじませたものでシミを押えてみて、紙に汚れがついてきたら油性シミです。どちらとも判断できなかったときは油性シミと判断します。



*乾燥は室温で自然に乾かします。ドライヤーなどを使うと繊維によっては変色や収縮の原因になるので避けて下さい。

●水溶性のシミの取り方

シミの原因	処理方法
コーヒー、紅茶、茶類	ぬるま湯をこぼしたところにそそぎかけて、吸取紙で吸い取ってください。そのあとは乾いたタオルで、ていねいにふきあげてください。
醤油・ソース	布かティッシュペーパーで出来るだけ吸い取り、中性洗剤を入れたぬるま湯で拭く。
コーラ、サイダー	アンモニア水か硼酸水で拭きとってください。そのあと中性洗剤を入れたぬるま湯に布を浸してふきあげてください。
ジュース	汚れてすぐのときは、水またはぬるま湯を含ませた布で拭く。シミが残るときはアンモニア水か中性洗剤でおとす。
ビール・酒類	布かティッシュペーパーで出来るだけ吸い取り、スポンジに水を含ませて拭く。または、汚れた部分に塩をのせ、ブラシで掃き取ったあとから、水を含ませたスポンジできれいに拭きます。

●食料品のシミの取り方

シミの原因	処理方法
アメ・砂糖・ジャム	熱い湯に2%中性洗剤を溶かし、布で拭き取る。
チューインガム	ベンジンかアルコールで柔らかくしてから摘み取る。どうしても取れない場合は、ドライアイスで固めてからたたいて粉々にする。
玉子	白身は洗剤溶液でたたきだす。黄身はベンジンなどで脂肪分を取り、白身と同様にたたきだす。熱湯はタンパク質を取れにくくするので要注意。
スープ	洗剤をつけて絞ったタオルで拭いてください。
しゅうゆ、ソース	汚れた部分をすばやく吸取紙で。できるだけ吸い取らせ、中性洗剤を入れたぬるま湯か、またはアンモニア水、アルコールで拭き取ってください。
ケチャップ、	紙で拭き、酢で拭く。色が残る場合はオキシドールで拭く。
カレー、みそ汁、酢	水か湯で絞った布または綿棒でたたき。取れない場合は、毛糸洗い用の洗剤溶液で同様にたたきだす。
牛乳、マヨネーズ、乳製品	布に湯を浸して軽くこすり、残った部分はベンジンで拭き取る。または、ベンジンで拭き取ってから、中性洗剤を入れたぬるま湯でふき取る。
チョコレート	布かティッシュペーパーで拭いてから、ベンジンでたたき、さらに洗剤で叩き出す。
アイスクリーム	粉末洗剤を山のように乗せ、ベトベトしたものを吸い取らせませす。乾いたら掃除機の隙間ノズルで吸引します。

●油性のシミの取り方（基本的には専門業者に任せる）

シミの原因	処理方法
食用油	へらかナイフで汚れを取り、ベンジンを白布につけてつまむように取り、中性洗剤を入れたぬるま湯で拭く
ラード・機械油	ベンジンでつまむようにして取り、2%中性洗剤で吹き上げる。

●化粧品

シミの原因	処理方法
口紅	アルコールでこすりとり、洗剤を入れたぬるま湯で拭く。
マニキュア	マニキュアの除光液で注意深く取る。
クリーム（化粧用）	紙で拭いてからアルコールで拭き、洗剤を入れたぬるま湯で拭く。
ファンデーション	ティッシュペーパーで拭き、洗剤液で拭く。残る場合はアルコールで拭く。
化粧水、香水	石鹼水で拭く。

●ペイント・筆記用具のシミの取り方（基本的には専門業者に任せる）

シミの原因	処理方法
インク（青、黒）	黒インクは洗剤で洗う。青インクはハイドロサルファイトの1%溶液 50～80℃にあたためたものに布か綿棒を浸し、たたきだす。
インク（赤）	吸取紙で吸い取り、洗剤を溶かしたぬるま湯で拭く。または 10%のアルコールかオキシドールで拭く。
印肉（朱肉）	食用油をつけて拭き、洗剤で油を拭き取る。拭き広がらないように注意する。
墨	ご飯粒を練って糊状にし、シミの上に載せて汚れを移し取るようにつまみ洗いを。毛羽立ちやすい繊維は板の上に乘せてヘラでしごく。
ペンキ	油性のペンキはなるべく早くベンジンでたたきだす。完全に落とすのは難しい。カーペットなどの汚れはテレピン油か市販のクリーナーで拭き取る。
灯油	粉末洗剤をかけて吸収させる。ブラシではらい、自然に蒸発させて乾かす。窓を開けると乾きやすい。臭いもとぶ。
マジック	シンナーで拭き 2%中性洗剤で拭き取る
水性絵具	2%中性洗剤で拭く。
ラッカー（塗料）	マニキュアの除光液かシンナーで拭き取る。
クレヨン、靴墨	ひどい汚れはアルコールを歯ブラシにつけたたくようにして取り、その後ぬるま湯で拭く。

●その他のシミの取り方（基本的には専門業者に任せる）

シミの原因	処理方法
ロウソク	ティッシュペーパーをあてて、上からアイロンをかける。
かび	ブラシではらう。ひどいときは掃除機の隙間ノズルで吸い取る。洗剤液かアルコールで拭く。
血液	オキシドールで拭くと簡単。または、水洗いしてから石鹼かアルコールで洗い、アンモニア水に浸す。古いシミもオキシドールで漂白。
尿	お湯をかけながらタオルで何回か拭く。後、酢で拭く。カーペットなどのとき、それを少し浮かして、しばらく風通しをよくしておく。
ふん（犬、猫）	完全に取ることはできないが、すぐに塩水で拭き取り、水に5%のアンモニア水で拭いたあと、中性洗剤を入れたぬるま湯で拭き取る。
泥	よく乾かしてから、電気掃除機で吸い取り、ぬるま湯で吹き上げる。
タバコのこげ跡	ウールならば歯ブラシで焦げた部分を落とす。化繊や穴が空いた場合は、部屋の隅や家具の下など目立たない部分の毛をハサミで切り、木工用ボンドまたは瞬間接着剤で焦げ跡に埋め込む。

- ！ 本表に示されたのはシミ、汚れの取り方の一例です。シミや汚れが複合したものがあり全てに完全とはいきれない点がありますのでご注意ください。
- ！ 結果を急いでシミ抜き剤などを大量に使用すると逆に汚れを広げてしまいます。
- ！ カーペットの色が落ちないかどうか、目立たない所で確かめてから実施して下さい。
- ！ 長時間たった汚れや、汚れの原因がわからないものは専門業者にお任せ下さい。